

外郭団体ミッション遂行評価票

【平成26年度取組結果】

団体名	皿倉登山鉄道株式会社	所管課	産業経済局 観光課
-----	------------	-----	-----------

<p>団体に対するミッション</p> <p>本市の代表的な観光地の一つである皿倉山山頂への唯一の公共交通手段である皿倉山ケーブルカー等を運行することで、産業観光や夜景観光の誘致など皿倉山周辺地区への本市の観光戦略の一翼を担う。</p>	<p>行財政改革大綱における見直し内容</p> <p>今後も、平成22年度に策定した「経営改善計画」に基づき、健全経営の維持に努める。</p>
---	---

ミッションに基づく中期計画							
3～5年後に目指す状態	着実な経営改善に取り組む。						
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）						
	H25 実績	H26 目標	H26 実績	H27 目標	H28 目標	H29 目標	H30 目標
当期純損益	22,562千円	当期純利益の確保	10,179千円	当期純利益の確保	当期純利益の確保	当期純利益の確保	当期純利益の確保
純資産	▲3,467千円	債務超過額の解消	6,712千円	—	—	—	—
長期借入金	76,700千円	市借入金の確実な返済	71,600千円	市借入金の確実な返済	市借入金の確実な返済	市借入金の確実な返済	市借入金の確実な返済

ミッションの遂行状況の評価（平成26年度）	
<p>団体における評価</p> <p>ケーブルカー利用者数が、夏季の天候不順及び周期台風等（昨年度比：晴天日数19日減、台風運休2日増）の影響を大きく受け、目標20万人に対し17.5万人と未達成となったものの、成果指標である①黒字経営の確保、②債務超過額の解消、③市借入金の返済の3つ全てが達成でき、観光戦略の一翼を担う機能維持に貢献した。</p>	<p>市の評価</p> <p>3つの成果指標全てを達成できたことは大いに評価できる。 主な収益源であるケーブルカー利用者数については夏季の天候不順による利用者数の減（8月は過去5年でも最低）の影響が大きかったが、一方で、イベント・PR等を実施することで、5月、11月、3月は過去5年間で最高の利用者数を確保し、経営改善に努め、黒字化に貢献したものと評価する。</p>
<p>今後の課題及び見直し内容</p> <p>今後も着実な経営改善に取り組むとともに、天候不順日の集客の落ち込みを穴埋めするため、晴天時の回転率を向上させるための具体的方法（駐車場整理員・誘導員配置、夜間運行の強化等）を検討する。</p>	<p>団体への改善指導内容</p> <p>天候不順日の運行は安全第一とし、平成27年度から行った施設名・社名変更のタイミングにあわせたPRや、新たに選定された「恋人の聖地サテライト」のネームバリューを活用した若い客層の掘り起こし等への取組みの検討を求めていく。</p>

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況	
見直しの分類	特に経営状況を注視する団体
<p>新たなイベントとして「星空案内人養成市民向け講座」を開設した他、11月金曜日の夜間運行の拡充（試行）と紅葉ライトアップの拡充、海外への営業活動の強化、福岡空港行き高速バスの帆柱ケーブルバス停への停車の実現等により集客増対策を図った他、新電力への変更による電気コストの削減を行った。</p>	